

平成 28 年度（前学期）授業アンケート結果の
公表に係る「自由記述欄」の記載（抽出）

大学院研究科

◇経済・ビジネス研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- ・経済・ビジネス研究科の各授業はいろいろな役に立っている。私は将来日本での就職を希望しているので、「インターンシップ」の授業は役に立った。この授業によって履歴書の書き方もよく分り、夏季休暇になれば、インターンシップを考えています。
- ・「人的資源管理研究」において、雇用形態、就職現状及び人事評価などの内容はすごく身近で就活に役に立っている。「経営管理研究」においては、主に経営戦略の内容で、興味ある業界に合わせて調査をし、発表形式であるので、将来の起業にすごくヒントをもらっている。
- ・「経済理論史論文演習Ⅰ」は、研究分野の様々な書籍を数多く紹介して頂いただけでなく、論文を書く上で不可欠なポイントを置さえた指導をして頂きました。特に、論文の構成、文の運びに関する指導は大変ありがたいものでした。
- ・私は大学院の授業科目の中では、いちばん興味が持っているのは「人的資源管理」と「流通マーケティング」である。役に立った授業は「経営戦略」と「観光学」である。そして、「インターンシップ」の授業は就職に対して大変役立ちました。
- ・修士論文を熱心に指導していただきました。本当にありがたいと感じております。修士論のテーマは「ベトナムの通信事業の開発戦略」です。朝元先生、内山先生と高先生の指導の下で、修士学位論文を作成しました。
- ・内山先生の「経済・経営統計」の授業で、各種類の回帰分析やデータベースの作り方などを丁寧に指導していただきました。また、EXCELソフトの各種の活用も真剣に指導いただき、課題報告書（修士学位論文）作成の際には、十分に役立つことができると思います。
- ・安先生の「人的資源管理論特別研究」の授業です。自己自身できちんと研究内容を安先生に確認させていただいて将来と現在までの研究道はものすごく役に立っています。
- ・「会計情報システム研究」の授業です。私の中国の大学での専門は会計学でしたので、会計と情報をうまく結びつけて、自分の研究テーマにたくさんヒントを与えてくれました。
- ・各授業を通じて色々な知識が身につけてきたので、修士論文の内容に生かせるようになってきた。
- ・「開発経済学入門」を学ぶことによって、「マクロ経済学」をも理解できるようになった。
- ・「経営英語」の授業を毎年受けて、英語の能力があがったと思います。
- ・「開発経済学」、資産運用の「財務管理」と「経営管理」、「国際経営研究」にそれぞれ興味が持てる授業である。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- ・自分の研究指導科目については、自分自身単独の授業にしてほしい。特に「セミナー科目」に他の院生の受講があると、自分が研究したい事に専念できません。
- ・「マーケティング」などの授業科目を増やしていただきたい。
- ・学問以外の科目の設置をしていただきたい。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- ・「大学院自習室の開放時間を伸ばして欲しい。また、自習室の鍵の管理を延長していただきたい。そして、日曜日の自習室開放も併せてお願いしたい。」との要望があった。
- ・教室と自習室の部屋において、夏・冬の空調を臨機応変に対応してほしいとの要望が多くあった。

◇工学研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- どの授業も少人数での授業となったので、わからない所を気軽に聞けたり、授業のペースも自由に変えられるので、とてもやりやすかった。
- 熱工学特論は学部の内容を復習できたのが一番よかった。新しく学んだ内容も中々面白かった。数値計算法特論はMATLABというソフトの使い方を習ったりしたが、受講人数が3人しかいなかったのも、授業がスムーズに進んでよかった。また、説明もわかりやすかった。
- 流体工学特論は、ただ学部の内容を復習するだけでなく、習った事が産業界でどのように使われているかなどといった、具体例も交えた内容だったので為になった。数値解析特論は全て英語のテキストだったため、英語の力も身に付いた。そしてなによりも授業の中身が研究等にも使える内容ばかりだったので役に立った。
- 電気エネルギー工学特論は火力・水力・原子力といった従来の発電方式として原理及び熱効率の計算法を学びつつ、新エネルギーやそれを送配する仕組みについて調査することで、理解を深めるとともに電力会社に就職も視野に入れている為、とても役に立った。
- ロボティクス特論Ⅰは、1つのロボットを作成する話で、パートごとに「この項目では〇〇が必要」など、実際の会社ですることを授業で学ぶことができて良かった。
- 制御工学特論Ⅰは、実際の装置を使用しながら、どのような制御を行っているか、わかりやすかった。
- 建築振動特論、地震工学演習は、地震動に関する専門知識を習得し、地震動と耐震設計の関連について詳しく知った。建築設計演習：一級建築士試験の製図課題について勉強し、自分の将来の実務設計などに非常に役に立つ。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- 数値解析特論はどうしても英訳に力を入れがちになってしまい、肝心の内容を理解するという所がおざなりになってしまうと思った。最後の課題のみではなく、毎週の英訳の宿題にプラスして例題を1問解く宿題を入れた方がいいのかもしれない。
- 全体的に授業の内容は満足しているが、できれば学部の時に今回受けたのと同じような高い質の授業を受けたかった。
- 大学院の授業科目はできるだけ英語でしてほしい。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）書いて下さい。

- 一部授業で大学の授業の教室とかぶっていた。教室がかぶらないように配慮してほしい。
- 微分幾何学の受講者が2名に対して、使用している教室が必要以上に広い。
- 大学院生の専用研究室を設置できれば良い。
- 8号館に入れるカードを院生にも配布してほしい。
- 研究室がせまい。（8702号室）
- 中央の食堂が値段高くなった。

◇芸術研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- ・デザインビジネス特論では、デザイン業界を含め、世界のトレンドを毎回紹介していただき、毎回楽しみであった。単なる知識だけでなく、考え方、仕事の流儀を教えてください、将来に活かせると感じた。
- ・デザインビジネス論では、デザインの領域は広く、日常生活を様々な角度から興味を持つてみるができるようになった。
- ・写真作品特論、写真特殊演習等では、複数の講師の先生から様々なお話、またアドバイスをいただくことができ、良い環境で学ぶことができていると感じている。
- ・論文指導 II では、授業の内容が学芸員試験の対策にもなり、非常に有益であった。
- ・東京から来られる著名な先生方の講義を聴くことができ、はげみになった。
- ・どの授業も興味深く、ひとつひとつの授業がより深い内容であった。
- ・作品についてのアドバイスはもちろん、制作活動全般に関することでも有益な情報が得られた。
- ・研究テーマを自由に選べたこと、また、自身のペースで研究を進めることができた点が良かった。
- ・少人数でのディスカッション形式の授業は非常に有意義で、先生方との交流も深まった。
- ・授業に集中できる環境で、身の引き締まる思いであった。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- ・90分一コマ/週という時間では物足りないと感じる科目がある。
- ・集中講義が重なってしまい、受講できないケースがある。調整を希望する。
- ・学生のペースで進める授業もいいが、マンネリ化することもある。
- ・展覧会の情報等をもっと紹介して欲しかった。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- ・履修登録のシステムが書類提出である点。学部同様に Web での登録ができるようにして欲しい。また、より柔軟な履修選択ができる仕組みづくりを希望。
- ・前期・後期別に履修登録できるようにして欲しい。
- ・大学院研究室の施設の改修が行われたが、壁を取り払ったことで空間の使い方で混乱があった。
- ・大学院研究室の無線 LAN 環境について、動作が遅いことがある。改善を希望。
- ・倉庫の使い方について混乱があった。平等に利用できるよう調整の必要を感じる。
- ・実習室の利用について、ルール、マナーが守られていないケースがあった。
- ・エアコンの調整ができない点を改善してほしい（効きすぎ/効きが悪い）。
- ・夜間の居残り作業について、エアコン等の環境整備を希望する。

◇国際文化研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- ・「臨床心理学面接特論」は、事例を元に、自分たちの考えを議論し、その上でロールプレイを行い、体験することで、考えを深めることができた講義だった。
- ・「臨床心理学面接特論」は、グループごとのワーク（実践・話し合い）が多く、主体的に、多くの良い体験ができた。
- ・「臨床心理査定演習」では、自分たちのためになるような論文を選んでくれ、それについて自分たちなりに解釈し、討論するという形式がとても合っていた。また、補足として与えてくれる知識や助言（アドバイス）が、本当に身になるものであった。
- ・「臨床心理学特論」では、疑問に感じて、なかなか言い出しづらい時、先生から話題を振ってもらえたりしたのには救われた。疑問も意見も、学生が出し易い雰囲気がとても良かった。
- ・「臨床心理学特論」は、各々の学生が興味を持った論文を発表し、皆で議論することで、自分の関心分野以外の研究にまで視野を広げ、じっくり考える良い機会となった。
- ・「臨床心理関連行政特論」では、今後、関わる可能性があるであろう法律について、じっくり学ぶことができ、とても良かった。
- ・「臨床心理学研究演習」において、修士論文作成のための議論を深めることができた。
- ・「日本・アジア文学研究（日本近代文学）」を受講することにより、文学作品の読解力と分析能力を向上させることができた。
- ・「日本・アジア言語研究（中世日本語論）」では、中世日本語としての古典の文法について、一つ一つ見ていく中で、高校の時に丸暗記していた項目の理屈を知ることができた。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- ・「学校臨床心理学特論」及び「心理学研究法特論」においては、自分たちで章ごとにレジュメを作り、発表（説明）をするという形式だったが、私たちの発表の内容に対する指摘よりも、授業担当者自身が、発表内容を理解することの方を優先しているようで、あまり聞いてもらえない印象であった。
- ・「学校臨床心理学特論」及び「心理学研究法特論」においては、授業の方法を変えて欲しい。小グループでのディスカッションを行う方が良い。
- ・「臨床心理査定演習」は、その科目名から、臨床心理の現場で使われやすいアセスメント方法（質問紙など）についての知識、解釈の方法などを、できれば複数、少なくとも一つ身につけられることを期待していたが、内容が異なっていた。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- ・夏の期間、臨床心理センター内がとても暑い。
- ・臨床心理センターの空調に関して、風が直接当たる場所と、そうでない場所の温度差が大きい。
- ・2号館6階の大学院講義室に関し、ホワイトボードのマーカーの中で、インク切れのものがある。

◇情報科学研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- ・アルゴリズムと計算量特論。6頂点の完全グラフの辺に色を塗る話で、ちょっとしたゲームとして遊べることは面白かった。近似アルゴリズムのビン詰め問題の話は分かりやすく、興味深いものがあった。
- ・並列プログラミング言語特論。ビデオ視聴での未来予測についての話は面白かったので、今後もこういった最新のIT動向を紹介して欲しいと思った。
- ・並列プログラミング言語特論。書き方の違いで効率がおそろしく変わることにおどろいた。シビアな速度が求められるプログラムで今後使うかもしれない。
- ・並列プログラミング特論を受講して、並列プログラミングがどういうもので何に有効なのかが分かりました。
- ・情報科学特別演習Ⅱ：早い段階で学会発表をできて良かった。様々な方々から意見を頂くことができた。
- ・情報科学特別演習Ⅱ。活動内容に対して、アドバイスをしてくださり、大変助かる。
- ・情報科学特別演習Ⅱなどで行った研究が就職活動で役に立った。
- ・衛星通信工学特論での英語論文の翻訳がとてもためになった。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- ・アルゴリズムと計算量特論。レポート提出時にも、こうした方が良いという助言をもらえたり、レポート問題を解く時間にもしてもらったりと臨機応変に対応してもらって良かった。今後もそうしてもらえると学生はレポート問題にも取り組みやすくなると思います。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- ・学部編成にともない、大学院生だけを集めた居室を研究室と別に備えてほしい。（空いているところで見つけてほしい）
- ・エアコンがききすぎている部屋とぜんぜんきいてない部屋があるので改善してください。
- ・研究室の空調を自由に調整できるようにしてほしい
- ・研究室の空調は自由に使えるようにしてほしい。
- ・12415が少し暑い